

移住体験談

伝統の世界で のびやかに暮らす

伊予郡砥部町在住

すぎうらふみのり

杉浦史典さん(36歳)・綾さん(36歳)

あや

●出身：愛知県 ●移住歴：8年

●移住形態：1ターン



松山から車で30分、愛媛を代表する伝統工芸品・砥部焼の産地である伊予郡砥部町に8年前に移り住んだ陶芸家夫妻の杉浦史典さんと綾さん。お二人は、陶里ヶ丘と呼ばれる窯業団地でスギウラ工房を構えています。

お二人とも東京造形大学を卒業後、焼き物の産地「瀬戸」のある愛知県で焼き物を学ばれたということで、砥部焼きの作家を目指しての移住……と思いきや、発端は、松山に住んでいる綾さんのご両親と同居するためだったそうです。

その後、砥部には磁器に適した良質の陶石があったこと、さらに砥部町が工房を持つことを条件に分譲した陶里ヶ丘に独立して窯を持てることなどから、砥部焼の道に進むことになりました。

現在は、作品が高い評価を得ているお二人ですが、独学で始めた砥部焼は瀬戸とは勝手が違い、最初はなかなか思うように焼けませんでした。すると、どこからか噂を聞きつけた砥部焼の窯元の先生が飛んできて、指導してくださいました。



「砥部焼は実におおらかで開放的。これは、砥部焼の世界に限らず愛媛県の風土や人柄なのかもしれない。」とお二人は言います。

最近は、業種を超えた若い世代との交流を深め、砥部を盛り上げていくことに話を咲かせているのだそうです。

移住に成功した人たちは、その土地に愛着を感じるのには早くても、周囲の人たちとは時間をかけてなじんでいくものといわれますが、杉浦さんご夫婦の場合は、若い世代の提言を中堅やベテランの方たちも耳を傾けてくれるだろうという信頼関係が、わずか8年という短い間に築かれたことに驚かされます。官・民ともに砥部焼を守り発展させていこうというこの町の風土が、移住に適しているのかもしれないね。



愛媛県の移住情報は…

「住まい」「お仕事」「暮らし」など、必要な情報をカテゴリ別に表示、移住体験談や市町の情報も充実！

■えひめ移住支援ポータルサイト e 移住ネット

URL <http://e-iju.net/>

えひめ 移住

検索

えひめファンクラブ会員募集中！

えひめに興味がある、えひめで暮らしたい、えひめを訪れてみたいと思われている方は是非登録を！

ご登録いただいた方へは、市町の移住支援情報やイベント情報など、えひめの旬情報を電子メールでお届けします。

■えひめファンクラブ（登録費・会費無料）

URL <http://e-iju.net/club.php> <えひめ移住支援ポータルサイト内>

えひめファンクラブ

検索

愛媛への移住に関するご相談・お問い合わせは…

- 愛媛ふるさと暮らし応援センター TEL 089-932-7841 FAX 089-932-7760
- 愛媛県東京事務所 TEL 03-5212-9071 FAX 03-5212-9072
- 愛媛県大阪事務所 TEL 06-6441-2829 FAX 06-6441-2830
- 伊予銀行の四国外店舗25ヵ所「愛媛移住・交流紹介コーナー」